

安倍総理大臣を弊社にお迎えして

株式会社興国鋳鋼所

村橋義晃 (大阪中之島RC)

弊社来訪の詳細が正式確定したのは、来訪日2日前の4月16日。

本年3月頃から近畿経済産業局のヒアリングを何度か受け、業界の現況や問題点等、私見を含めてお話してきました、この頃から水面下での準備が進められていた様です。

何度かのヒアリングの答えは何時も同じ内容でしたが、経済産業局の担当課長から「経済産業局の上層部に直接お話して下さいますか?」と、そして、4月4日に近畿経済産業局長が来社され、同じ持論をお話させて頂いたところ「今の内容を直接、政府要人にお話して頂けますか?」「その政府要人は安倍総理です」「総理の大阪入りは極秘扱いです、又、直前まで変更の可能性があります」「くれぐれも他言無きようにお願いします」等の会話の後、準備が一気に進んでいく事になりました。

4月11日には、経済産業省、中小企業庁、近畿経済産業局、大阪府警警備本部、西淀警察署等、総勢約20名との事前打合せを行い、それから連日、現場確認、構内動線確認、車両動線確認等があり、現職の総理大臣が民間企業を訪問するということが如何に大掛りな事か、初めて間近で見る展開に興味深々、好奇心が湧き立ちました。

当初、弊社の滞在時間は30分間の予定でしたが、4日前に20分間に変更、2日前には、15分間に短縮、移動時間や警備上の問題で、分刻みのスケジュールは直前まで確定されませんでした。

当日の警備要員は、首相官邸SP5名、大阪府警警備本部から約20名、所轄の西淀川警察署から約40名、随行者は、中小企業庁長官をはじめ、経済産業省、近畿経済産業局等から約10名、報道関係者が約20名、そして、地元大阪の自民党代議士、自民党大阪府議、市議等、総勢100名を超える来訪者で弊社周辺は騒然とした雰囲気でした。

そして、定刻3分前の15時57分に前後7台の車列中央の総理専用車が到着、出迎えた私に握手を求められ「村橋さん、今日はお世話になり、有難うございます」とご挨拶頂き、真っすぐ工場内へ、与えられた15分間、安

倍総理と一対一の対話が始まりました。

対話は、以下の3点をテーマに稼働中の工場を背景に立ち話で行いましたが、何処まで踏込んだ話をして良いのか、限られた時間内に全ての話が出るのか、様々な思いが交錯した15分間でした。

対話は、立ち話故に非常に近い間合いで行われましたが、謙虚な姿勢でお聞き頂き、良く理解して下さったと思います。又、私の言葉が過ぎた感もありましたが、心地よい良い内容ばかりの対話よりは、印象に残る企業視察をして頂けたかと思えます。

爽やかで気さくなお人柄に接し、生涯に二度と無い貴重な体験をさせて頂きました。

そして、この機会を与えて下さった所轄官庁の関係各位に感謝申し上げます。

3点のテーマ要旨

①電力問題

昨年4月から関西電力の値上げが実施され、弊社の場合、特別高圧電力の契約にて2万ボルトを受電する電力多消費型産業であり、電力料金が売上高の10%を超える事態となり、収益を圧迫している。又、電気炉において金属を溶解する初期工程では、短時間に多大な電力消費を伴い、この間のピーク電力が基本料金に反映され、電力料金の内、基本料金が6~7割を占める異様な料金体系となっている。

国内電力会社は、需要家の業態に適した選択可能な多様性有る契約メニューを提供する必要が有り柔軟な電力政策をお願いしたい。

これらの電力問題に対して、総理からは更なる自由化を含め柔軟な電力政策を進めていきたいとのコメントがありました。

②人材問題

製造業の職場が3K(危険、汚い、きつい)の職場と言われ、若者の製造業離れが続いているが、最近の人手不足と相乗して求人難が顕在化、人材の確保が益々困難となり、将来への固有技術継承、技能伝承の障壁となって

いる。

少子高齢化、生産人口の減少が国内問題として顕著となり、既成の国内人材需給のみでは、国内生産能力の低下が懸念される。

この問題に対しては、女性の活用、技能や経験が豊かな高齢者の活用、そして外国人実習制度の緩和等を進めていくとの見解を示されました。

③中小製造業の現況

アベノミクス効果により、大手企業を中心に収益状況が急回復しているが、関西の中小企業、特に基礎産業である素材材メーカーは厳しい業況から好転していない。

大手企業と中小企業との業績回復時期には、時間差があると思われるが、回復の実態が反映された大手製造業

と回復が遅れている中小製造業の二極化が顕著になっている。

国内産業の基盤となっている中小企業の弱体化は、我国の産業構造の根底が崩壊するリスクを含んでいる。

これらの現況をお聞きになり、我国の産業基盤である中小企業の重要性を改めて認識したと述べられました。

以上の対話シーンの一部は、首相官邸ホームページに動画にてアップされています。下記URLをご参照下さい。

<http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg9706.html?c=01&a=1>

http://www.youtube.com/watch?v=VlqViimY_WM

安倍首相が、先週18日、来阪し中小企業を訪問した。女性の社会での活躍を推進する安倍首相は、出産などで離職した女性の職場復帰を積極的に引き、昨年経済産業省の「ダイバーシティ経営（性別や国籍などの異なる多様な人材を活用する経営）企業100選」に選ばれた天産産業（本社・大阪市住之江区、社長・樋口友夫氏）を視察した。同社では20分ほど滞在し女性社員と懇談。安倍首相は大学卒業後、3年間、神戸製鋼所に勤務していただけに樋口社長が工場内案内する一鉄鋼業界の用語を

安倍首相、関西の中小企業視察

天産産業で女性社員と

久しぶりに聞き、思い、影響や、ものづくりの基礎産業である中小製造業の現状などについて視察した。村橋社長と懇談。関西地区の中小ものづくり企業は、景気回復の実感に乏しい。大手との二極化している。また、求人難や技能継承問題なども改善できず、このままでは賃上げを実施した大手企業との格差は広がる「一方だ」という村橋社長の声に耳を傾けた。

その後、門真市で会見した安倍首相は「日本経済を支えているのは中小企業だ」と実感し、電料金えに取組む考えを強調した。

天産産業 女性社員の積極活用や 興国製鋼所 大手との2極化実態など

興国製鋼所 村橋社長と

鋼所（本社・大阪市西淀川区、社長・村橋義太と述べ、景気下支

晃氏では、電料金えに取組む考えを強調した。



鉄鋼新聞 2014年4月22日付 3面